



豆まき集会

ここ数年暖冬が続いた中であって、今年は比較的寒い冬となっています。しかし、立春が過ぎ、どことなく春の気配も感じられるようになってきています。本校では、2月2日（火）節分の日に豆まき集会を行いました。

節分とは、立春の日の前日で、「季節を分ける」という意味もあります。季節の変わり目には、人の身に病気を起こすとされる悪い気が入りやすいとされ、これを払うため神聖なものとされた豆をまいたようです。鬼は、この悪い気（邪気）を起こすとされました。今年は暦の関係で124年ぶりに2月2日が節分の日となりました。

児童会が中心となり、節分のお話を劇で演じたり、学年代表が追い出したい鬼を発表したりしました。子どもたちの追い出したい鬼は「忘れ物鬼」「夜更かし鬼」「怒りんぼ鬼」などが多く見られました。今回は本物の豆をまかずに、新聞紙で作った豆をまきました。それでも、鬼を追い出そうという子どもたちの気合いで、心の中の鬼を追い出すことができたのではないかと思います。



ブリティッシュヒルズ オンライン研修

1月26日から1泊2日で予定していた、6年生対象の天栄村にあるブリティッシュヒルズでの英語体験学習は、新型コロナウイルスの感染状況を鑑み、中止といたしました。しかし、子どもたちはこの研修を楽しみにしていたので、何らかの形で実現できないかと考え、担当者の方と相談し、オンライン研修で実施することとなりました。

本校のICT環境を最大限に生かし、ブリティッシュヒルズと子どもたちをタブレットと電子黒板でつなぎました。1時間目は「オール・アバウト・ミー」英語で自分を紹介する内容でした。イギリス人の講師の方の問いかけに、元気に反応している子どもたちの様子を見て講師の方も大変喜び、盛り上がりのある活動となりました。2時間目は「ファン・ウィズ・ナンバー」英語を使った算数の授業でした。千・万の単位に慣れていないこともあり、最初はやや苦戦していましたが、英語を使って数字を表現することに徐々に慣れていったようです。

1泊2日の研修ではなくオンラインという形になってしまいましたが、イギリス人の講師の方とふれあいながら楽しく英語を学ぶことができたこと、大変良かったと思います。

この研修に対してご支援をいただいた川房振興委員会様、本当にありがとうございました。心より御礼申し上げます。

